

相原小学校 第1学年 生活科学習指導案

1、 単元名	あきと ともだち 中心となる内容（5）季節の変化と生活、（6）自然や物を使った遊び		
2、 単元の目標	秋の自然とかかわる活動を通して、遊びや遊びに使うものを工夫して作ったり、身近な自然の違いや特徴を見つけたりすることができ、自然の様子や四季の変化、季節によって生活の様子が変わること、遊びのおもしろさ、自然の不思議さに気付くとともに、身近な自然を取り入れて自分の生活を楽しくしたり、みんなと楽しみながら遊びをつくり出したりすることができるようにする。		
3、 単元の評価 基準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に取り組む態度
	秋の自然と関わる活動を通して、自然の様子や四季の変化、季節によって生活の様子が変わること、遊びのおもしろさ、自然の不思議さに気付いている。	秋の自然と関わる活動を通して、遊びや遊びに使う物を工夫して作ったり、身近な自然の違いや特徴を見つけたりしている。	秋の自然と関わる活動を通して、身近な自然を取り入れて自分の生活を楽しくしたり、みんなと楽しみながら遊びをつくり出したりしようとしている。

4、指導計画（全16時間）

時間	小単元の目標 ①主な学習活動	重点評価規準 【評価の観点】	他教科との関連 講師等
4	あきとともだち あきを見つけよう 秋を見つける活動の中で、自然の様子を五感で捉えたり、夏の様子と比較したりすることができ、秋らしい自然の様子や、遊びのおもしろさ、自然の不思議さに気付くことができるようにする。 ① 秋や、秋の遊びについて知っていることを教え合う。秋探しの計画を立てる。 ② 秋探しに出かける。幼児と一緒に秋探しをする。交流① ③ 見つけたものや気付いたことなどをまとめ、伝え合う。	【知識・技能】 <ul style="list-style-type: none"> 植物や生き物、気温、風などの秋らしい自然の様子や、遊びのおもしろさ、自然の不思議さに気付いている。 公共施設を利用するにあたって、みんなが気持ちよく過ごすためにルールやマナーを守っている。 【思考・判断・表現】 <ul style="list-style-type: none"> 秋の自然の様子について五感を通して感じ取ったり、春の様子と比較したりして捉えている。 	「生活科」 がっこう たんけん なつと ともだち 「国語」 すきなものつたえよう 「図画工作」 みんなのすきなものの 「体育」 遊具を使った遊び

6	<p>おちばや木のみでつくろう</p> <p>秋の自然物を他の物に見立てたり、特徴を生かしたりするなどしながら工夫して遊ぶことができ、道具や用具を適切に使うことなどが大切さに気付くことができるようにする。</p> <p>幼児と遊ぶ交流会について、幼児のことを予想しながら準備をすることができ、幼児の立場に立って考えることの大切さに気付くことができる。</p> <p>① 前時での活動で集めてきた自然物を観察し、その特徴を捉える。</p> <p>② 自然物の特徴から発想を広げて、秋のおもちゃを作る。</p> <p>③ 活動を振り返り、したことや感じたことを伝え合い、幼児との交流会を企画する。</p> <p>④ 交流会の計画を立てて、準備を進める。</p>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 楽しくおもちゃ作りをするためには、道具や用具を適切に使うことや次に使う人のために、活動後に整理整頓・掃除をすることが大切であると気付いている。 幼児との交流することについて、その楽しさや、幼児の立場に立って考えることの大切さに気付いている。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> 秋の自然物を他の物に見立てたり、その特徴を生かしたりして、実際におもちゃを作りながらより楽しいものにするにはどうすればいいか考えている。 幼児との交流会に向けてどのような遊びをすれば楽しんでもらえるか予想しながら、準備をしている。 	<p>「生活科」</p> <p>きれいなはなをさかせよう（アサガオの栽培）</p> <p>「国語」</p> <p>おおきくなったよ</p> <p>図書室で本を読もう</p> <p>「図画工作」</p> <p>自分の好きなもの</p>
6	<p>つくったおもちゃであそぼう</p> <p>秋の自然物で遊ぶ活動を通して、遊び方や作り方で比べたり、見直したりすることができ、秋の自然物で遊ぶ楽しさに気付くことができるようにする。</p> <p>幼児といっしょに遊ぶことができ、交流することの楽しさや幼児の立場に立って考えることの大切さに気付くことができるようにする。</p> <p>① 作ったおもちゃで友達と遊ぶ。</p> <p>② 遊び方を工夫したり、おもちゃを改良したりしながら繰り返し遊び、幼児と一緒に楽しめるか考え、工夫する。</p> <p>③ 幼児との交流会を開き、いっしょに楽しむ。…交流②</p> <p>④ 交流会と活動を振り返り、したことや感じたことをまとめる。</p>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> みんなで楽しく遊ぶために、遊びのルールを守っている。 幼児との交流することについて、その楽しさや、幼児の立場に立って考えることの大切さに気付いている。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> 秋の自然物を使って遊ぶ活動を通して、友達のおもちゃや遊び方と比べたり、遊び方を見直したりして、楽しく遊んでいる。 どうすれば幼児に楽しんでもらえるか予想しながら、交流会で幼児といっしょに遊んでいる。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 秋の自然物を使って遊ぶ活動を通して、季節の自然物を用いて遊ぶことの楽しさに気づき、秋ならではの遊びに注目しようとしている。 	<p>「生活科」</p> <p>学校探検</p> <p>きれいなはなをさかせよう（アサガオの栽培）</p> <p>「図画工作」</p> <p>せんでいいかんじ</p> <p>「体育」</p> <p>水遊び</p> <p>おにあそび</p>

1	<p>あきとともにだちになれたか</p> <p>秋らしい自然の様子や秋ならではの遊びの楽しさを実感することで、これからも積極的に自然と触れ合っ楽しんで、身近な自然を取り入れ、自分の生活を楽しくしたりしようとするができるようにする。</p> <p>① 単元全体を振り返り、感じたことや考えたことなどを伝え合う。</p> <p>② これまでの自分の活動を絵と文で表す。</p> <p>③ これからやってみたいことを伝え合う。</p>	<p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 秋らしい自然の様子や秋ならではの遊びの楽しさを実感することで、これからも積極的に自然と触れ合っ遊んだり、身近な自然を取り入れ、自分の生活を楽しくしたりしようとしている。 	<p>「生活科」</p> <p>がっこうたんけん</p> <p>きれいなはなをさかせよう（アサガオの栽培）</p> <p>「国語」</p> <p>すきなものつたえよう</p> <p>「図画工作」</p> <p>みんなのすきなもの</p>
---	---	---	--

5、展開例 交流 ①

(1) ねらい

- 秋の動植物、気温、風など秋らしい自然の様子や遊びのおもしろさ、自然の不思議さに気付く。
- 公共施設を利用するにあたって、みんなが気持ちよく過ごすために、ルールやマナーを守る。

(2) 展開

時間	学習活動	○支援 ☆評価
導入	<ul style="list-style-type: none"> 相原小学校から中央公園へ出かける前に、移動時や公園での過ごし方について確認する。 公園に到着したら、トイレの場所や活動する場所、活動時間を確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 公園では、幼児と一緒に活動することを伝え、どんなことに気を付けたり、注意したりすればいいか考えさせる。 ○ 安全に過ごせるように困ったときのことを確認する。
展開	<ul style="list-style-type: none"> 秋の動植物や自然の様子を探したり、観察したりする。 見つけた秋の動植物や自然の様子写真を撮ったり、集めたりする。 幼児の友達と一緒に落ち葉や木の実など自然のもので遊んだり、集めたりする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自生している植物などを勝手にとったり、昆虫などを捕まえたりするのではなく、まず写真を撮ったり、観察したりするように指導する。 ・ 幼児と一緒に活動するが、自分たちの活動を優先することも指導する。 ☆ 秋の動植物や自然の様子について観察し、秋らしい自然の様子に気付いている。 ☆ 幼児と一緒に秋探しを楽しんでいる。
終末	<ul style="list-style-type: none"> 見つけたものや気付いたこと、感想を発表し合う。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ いっしょに活動した幼児にお礼を伝えたり、感じたことを話したりさせる。

5、展開例 交流 ②

(1) ねらい

- ・ 秋の自然物を使って遊ぶ活動を通して、友達のおもちゃや遊び方を比べたり、遊び方を見直したりして、みんなで楽しく遊ぶ。
- ・ 幼児と遊ぶ交流会を企画し、予想しながら準備したり、いっしょに遊んだりすることを通して、交流することの楽しさや幼児の立場に立って考えることの大切さに気付く。

(2) 展開

時間	学習活動	○支援 ☆評価
導入	<ul style="list-style-type: none"> ・ 交流会で計画したことや遊びの手順などを確認する。 ・ 幼児をお迎えして、ペアやグループになり自己紹介して、名札をつけてあげる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 交流会であることを確認して、準備を終わらせる。 ○ 名札に名前を書いて、ペアの友達につけさせる。
展開	<ul style="list-style-type: none"> ・ それぞれのお店で、ペアの友達と一緒に遊ぶ。 ・ 幼児の友達にあげるプレゼントや持ち物、集合場所・時間などを確かめて片付けをする。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 前時までに確認した遊びの内容を幼児の希望で回れるように工夫する。 ○ 「困ったことがあったら言ってね。」や「ありがとう。」など、相手を思いやり、自分たちの気持ち伝えたりする言葉が大切なことを全体で確認する。 ☆ 秋の動植物を使って遊ぶ活動を通して、遊び方を工夫している。 ☆ 幼児と一緒に遊びを楽しんでいる。
終末	<ul style="list-style-type: none"> ・ うまくできたこと、できなかったこと感想を発表し合う。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ いっしょに活動した幼児にお礼を伝えたり、感じたことを話させたりする。

6、学習材設定上の留意点（地域、ボランティアコーディネーターとの連携等）

- ・ ボランティアコーディネーターと一緒に活動する保育園や幼稚園との連絡について確認した。
- ・ 中央公園に事前に連絡し、日程の調整やドングリなどが拾える時期を確認した。
- ・ こうさぎ保育園やあいはら幼稚園と連絡を取り合い、活動の流れや当日までの準備など確認する。

7. 活動までの大まかな流れ

時期		連絡先・留意事項など
1 学期	今年度の学習の計画や日程を確認し、保育園や幼稚園、中央公園と連絡をとる。 ① 担任のあいさつ ② 保育園と幼稚園との交流会の可否を確認 ③ 年間の活動の内容の確認と中央公園との打ち合わせ	相原中央公園 772-1449 あいはら幼稚園 782-2104 こうさぎ保育園 772-3034
5月	生活科探検として中央公園へ出かける。 はるとともだち 校区内探検	実踏を2週間前までに行う。 活動1週間前に中央公園に

		届け出を済ませる。
7月	生活科 なつとともにだち で中央公園へでかける。	実踏を2週間前までに行う。 活動1週間前に中央公園に 届け出を済ませる。
夏季休業中	幼稚園・保育園と交流会の時期や流れの打ち合わせをす る。	
9月	生活科 いきものとなかよし で中央公園へ出かける。	講師の方に連絡してきてい ただく。 西垣さん
10月	生活科 あきとともにだち で中央公園に出かける。	雨天時の延期などについて 幼稚園と保育園と打ち合わ せておく。
12月	生活科 あきとともにだち で相原小に相原幼稚園とこ うさぎ保育園の園児を招いて交流会を開く。	幼稚園・保育園と活動ができ るように連絡する。